

時代を語り継ぐ

歴史の忘れ形見。

悠久のときを越えて、静かに佇んでいる歴史の遺物たち。

時代の移り変わりを見据えながら、
今も何かを私たちに語りかけています。

遙か昔への思いを馳せる息づかいに、
耳を澄ましてみませんか…。

歴史・文化

大樫遺跡出土の中世陶器



桑折町には、長い歴史を彷彿させる文化財が数多く残されています。国指定の重要文化財である『旧伊達郡役所』は、その代表格。もともと保原町にあった郡役所を誘致したことをきっかけに、明治16年に建造された瀟洒な建物です。郡役所の遺例では最大級の規模を持っています。同じく国指定の史跡である『桑折西山城跡』名将・伊達政宗を生んだ伊達藩にゆかりの深い由緒ある城跡で、往時を偲ぶ巨大な城郭などがロマンの香り高い中世へと心を誘います。ほかにも平成7年の3月に町から県指定へと昇格した



下万正寺遺跡出土の瓦



◆錦木塚古墳 ①

7世紀前半の古墳で推定全長45mの前方後円墳。平成6年の4月に町指定になりました。

◆伊達朝宗の墓所 ②

伊達朝宗は62万石伊達家の開祖に当たる武将。源頼朝の奥州征伐に大きく貢献したことから、信夫と伊達を拝領し、それまでの中村姓を改めて伊達家を興しました。

◆桑折西山城跡 ③

戦国時代の名将・伊達政宗の祖が築いた伊達氏の居城跡。複郭式の平山城は、戦国時代の典型的なスタイルで、当時の勢いをよく伝えています。

◆芭蕉の田植え塚 ④

桑折の俳人・佐藤馬耳が「風流の初めや奥の田植唄」の短冊を法門寺境内に埋め、芭蕉翁と刻んで建立した石碑。

